臨床調查個人票

	新規	更新
_	. , . , _	 ,

190 鰓耳腎症候群

■ 行政記載欄 受給者番号 認定 判定結果 | 不認定 ■ 基本情報 姓 (かな) 名 (かな) 姓 (漢字) 名 (漢字) 郵便番号 住所 *以降、数字は右詰めで 西暦 年 月 生年月日 日 記入 性別 1. 男 2. 女 出生市区町村 姓 (かな) 名 (かな) 出生時氏名 (変更のある場合) 姓 (漢字) 名 (漢字) 1. あり 2. なし 3. 不明 発症者続柄 □ 1. 父 2. 母 3. 子 4. 同胞 (男性) □ 5. 同胞 (女性) □ 6. 祖父(父方) □ 7. 祖母(父方) 家族歷 □ 8. 祖父(母方) □ 9. 祖母(母方) □ 10. いとこ □ 11. その他 *11 を選択の場合、以下に記入 続柄

月

西暦

発症年月

社会保障				
介護認定	□ 1. 要介護	2. 要支援	3.	なし
要介護度	□ 1 □ 2	3	<u> </u>	<u> </u>
生活状況				
移動の程度	□ 1.歩き回るのに問題□ 3.寝たきりである	はない	□ 2.いくらか問題	がある
身の回りの管理	□ 1.洗面や着替えに問□ 3.自分でできない	題はない	□ 2.いくらか問題/	がある
ふだんの活動	□ 1.問題はない□ 3.行うことができな	2 ()	□ 2.いくらか問題	がある
痛み/不快感	□ 1.ない	□ 2. 中程度	ある 🗌 3.	ひどい
不安/ふさぎ込み	□ 1. 問題はない□ 2. 中程度□ 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる			
■ 診断基準に関する事項 A. 症状				
		□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明
1. 第 2 鰓弓奇形		□ 鰓溝性瘻孔 (胸鎖乳突筋の前方で、通常は頚部の下方 1/3 の部位の微小な開口)□ 鰓溝性嚢胞 (胸鎖乳突筋の奥で、通常は舌骨の上方に触知する腫瘤)		
2. 難聴(程度は軽度から高度まで様々であり、 種類も伝音難聴、感音難聴、混合性難聴の いずれもあり得る)		□ 1. あり	□ 2.なし	□ 3. 不明
3. 以下の症状が 1 つ以上該当する		□ 1.該当	□ 2. 非該当	□ 3. 不明
□ 耳小窩(耳輪の前方、耳珠の上方の陥凹) □ 耳介奇形(耳介上部の欠損)				
□ 外耳の奇形	□ 中耳の奇形	□ 内耳の	奇形 □ [削耳

	□ 1. 該当 □ 2. 非該当 □ 3. 不明			
	□ 腎無形成 □ 腎低形成			
	□ 腎異形成 □ 腎盂尿管移行部狭窄			
4. 腎奇形	□ 水腎症 □ 膀胱尿管逆流症			
	□ 多嚢胞性異形成腎 □ その他			
	*その他を選択の場合、以下に記入			
B. 遺伝学的検査				
遺伝子検査の実施	□ 1. 実施 □ 2. 未実施			
EYA1 SIX1				
C. 鑑別診断				
以下の疾病を鑑別し、全て除外できる。 除外できた疾病には☑を記入する。	□ 1. 全て除外可 □ 2. 除外不可 □ 3. 不明			
□ タウンズブロックス (Townes-Brocks) 症候群 □ チャージ症候群				
□ 22q11.2 欠失症候群 □ その他の多発奇形症候群				
*その他の多発奇形症候群を選択の場合、以下に記入				
<診断のカテゴリー>				
□ Definite 1:家族歴のない患者では、A.症状を3つ以上、もしくは2つ以上でかつ遺伝子診断され、C.鑑別診断を除外できたもの				
□ Definite 2:一親等に家族歴のある患者では、A.症状を1つ以上でかつ遺伝子診断され、 C.鑑別診断を除外できたもの				
□いずれにも該当しない				
症状の概要、経過、特記すべき事項など *250 文字以内かつ7行以内				

■ 発症と経過						
精神発達遅滞		□ 1. あ	, Ŋ	□ 2.なし	□ 3. 不明	
■ 重症度分類/ 聴覚	こ関する事項					
□ 0. 25dBHL ₹	□ 0. 25dBHL 未満(正常) □ 1. 25dBHL 以上 40dBHL 未満(軽度難聴)			度難聴)		
□ 2.40dBHL 以上 70dBHL 未満(中等度難聴) □ 3.70dBHL 以上 90dBHL 未満(高度難聴)						
□ 4.90dBHL以上(重度難聴)						
※ 500、1000、200	OHz の平均値で、	聞こえが良	い耳(良聴)	耳) の値で判断		
CKD 重症度分類と	ニートマップ					
CKD 重症度分類ヒートマップ		□緑	□ 黄	□ オレンジ	□赤	
		G1 (正常または高値	查:≧90)		
		□ G2 (正常または軽度低下:60~89)				
	①GFR 区分(mL/分/1.73 ㎡)		□ G3a(軽度~中等度低下: 45~59)			
UGFK 区方()			□ G3b(中等度~高度低下: 30~44)			
			☐ G4 (高度低下:15~29)			
			□ G5 (末期腎不全 (ESKD) : <15)			
②蛋白尿区分	>		A1 (正常 0.15 未注	哉)	
尿蛋白定量	尿蛋白定量(g/日)あるいは		□ A2(軽度蛋白尿 0.15~0.49)			
尿蛋白/Cr 比(g/gCr)		□ A3 (高度蛋白尿 0.50 以上)				
■ 人工呼吸器/	こ関する事項	(使用者の	み記入)			
使用の有無	□ 1. あり					
開始時期	西暦		年	月		
離脱の見込み	□ 1. あり	[2.なし	,		
種類	□ 1. 気管切	切開孔を介	した人工時	呼吸器		
	□ 2. 鼻マン	スク又は顔	マスクをク	个した人工呼吸	器	
振 行业2	□ 1. 間欠的	——— 勺施行		2. 夜間に継続的		
施行状況	□ 3.一日□	中施行		4. 現在は未施行	-	

	食事	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	
生活状況	車椅子とベッド間の移動	□ 自立	□ 軽度介助	
	平何] こ・・ソ 下间(2/1/999)	□ 部分介助	□ 全介助	
	整容	□ 自立	□ 部分介助/不可能	
	トイレ動作	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	
	入浴	□ 自立	□ 部分介助/不可能	
	歩行	□ 自立	□ 軽度介助	
	<i>3</i> √11	□ 部分介助	□ 全介助	
	階段昇降	□ 自立	□ 部分介助 □ 不能	
	着替え	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	
	排便コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	
	排尿コントロール	□ 自立	□ 部分介助 □ 全介助	
医療機関名				
指定医番号				
医療機関所在地				
電話番号			*ハイフンを除き、左詰めで記入	
医師の氏名			印	
			※自筆または押印のこと	
記載年月日	西曆	年	目	
診断年月日	西暦	年 月 月	日	

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近 6 か月間で最も悪い状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、
- 「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成 26 年 11 月 12日健発 1112 第 1 号健康局長通知)を参照の上、ご記入ください。
- ・診断年月日欄には、本臨床調査個人票に記載された内容を診断した日を記載してください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。